東大阪
発行所
株式会社東大阪新聞社
第6961号
〒577−0802
東大阪市小阪本町1-1-7
エフエスビル2F
TEL 06−6720−4601
FAX 06−6720−4603

八尾柏原支社
〒581−0013
八尾市山本町南6-2-29
TEL 072−926−5134
FAX 072−921−6893

東大阪・八尾
柏原の地域紙

好評放映中
毎週木曜日19:00〜19:30
視聴は http://www.higashiosaka-n.com
3月

東大阪新聞チャンネル

7日 ゲスト：吉川雄太さん「瓢箪山商店街の販売促進！」
（キャスター：小川秀人遊軍記者）

14日 ゲスト：熊渕慈恵さん「生きづらさに苦しむ子どもたち」
（キャスター：小野元裕社長）

21日「芸術論」（キャスター：嶋津亮太記者）

28日 ゲスト：笠本義嗣さん「会議革新」
（石河亮平編集委員）

人に喜んでもらうことの嬉しさ

レーザ&ステンレスで、社会に参画する。
NODA 野田金属工業株式会社

夫唱婦随の野田夫妻（野田正明さんのモニュメントの前で）

松下幸之助は経営の神様と言われたが、野田邦夫さんは経営の仏様だ。今年1月に90歳を迎えた野田さんは慈愛に満ちた表情を湛えている。共に現役で働く妻、稲さんは86歳。夫婦はともに生活する中で似てくると言われているが、稲さんの表情も穏やかで観音さまのようだ。

満州で作った 鍋が原点に

取材をするなかで、ここに至るまでに多くの荒波を乗り越えてきたことを知り、「艱難汝を玉にす」という諺が脳裏に浮かんだ。

終戦を満州で迎えた2人は、着の身着のまま日本へ戻ってきた。帰国後は畑をしたり、卵を売ったり、喫茶店を開いたりして、夫婦で力を合わせ生き抜いた。

昭和48年、東大阪市稲田新町に野田金属工業株式会社を設立した。初めの頃はお金にも人にも苦労したが、誠実な野田さんの仕事ぶりが評価され、どんどん発展し、今では東大阪市を代表する企業に。高級ステンレス加工全般を行っている。

福山市出身でニューヨーク在住の世界的アーティスト野田正明さんのモニュメント制作を手掛けるようになり、同社は世界的に知られるようになった。

現在も野田邦夫さんは代表取締役会長として元気溌剌働いている。奥さんの稲さんも現役で、いつも野田さんに寄り添っている。

会社の入口に「再び命を与えてくれた鍋」が展示されている。昭和20年11月、野田さんが17歳のときに自らの手で作った鍋だ。満州の難民収容所で高粱（タカキビ）の玄米を炊飯するため、旧日本軍官舎のペチカの鉄板を剥がして作った。同じものをいくつか作り同胞に渡すと、涙を流して喜んだ。このとき、人に喜んでもらうことの嬉しさと満足感を知った野田さん。「この気持ちを生涯忘れることはありません」。野田金属工業株式会社の原点はここにある。

野田金属工業株式会社
代表取締役会長　野田邦夫
代表取締役社長　飯森広明
東大阪市鴻池徳庵町4−8
TEL06−6744−1350

鉄板が美しいステーキハウスの部屋

落ち着いた雰囲気の中国料理の部屋

リニューアルオープン 510

FIVETEN
・・・・・

ステーキハウスと中国料理の次世代型コラボレーションが実現

1967年創業の老舗レストラン510（ファイブテン）が昨年12月8日にリニューアルオープンした。

本格的な洋食料理・中国料理・ステーキハウス・和食・寿司・喫茶・バイキングレストラン…。新しい外食文化を展開してきた。

リニューアルし、ステーキハウスの部屋と中国料理の部屋を併設した。約半世紀にわたり地元に愛されてきた同店。ステーキハウスと中国料理の次世代型コラボレーションが実現した。

スタイリッシュな建物に変身

ステーキハウス・中国料理
510（ファイブテン）
大阪市城東区永田2-7-12
TEL 06-6968-0510
定休日：毎週火曜日（祝日は除く）

中西のぶひろ 新春の集い

中西のぶひろさん（66）が東大阪市議会議員として復帰を果たし、秋口には任期満了の日を迎える。中西議員の3年半の活動軌跡を追うと、6つの「まちづくりの夢」が見えてくる。

野田義和東大阪市長（右）と握手する中西のぶひろ東大阪市議

新しい門出に まちづくりの夢を語る

「教育」子どもは国の宝もの、個性を育む教育現場を応援していく。

「子育て」産後ケアを充実、保育所待機児童ゼロを目指す。

「福祉」ひとり住まいや高齢者世帯を孤独にさせない。

「スポーツ」ラグビーワールドカップの成功、東大阪を世界に向けて発信。

「伝統文化」伝統的な祭りを大切に保存、次世代に引き継いでいく。

「地域経済」モノづくりを支援し、商店街の活性化を推進等々、中西議員は町の声、市民の意見を広くすくいあげている。

「新春の集い」は2月10日、ホテルセイリュウ（東大阪市上石切町1）にて、中西市議の後援者を中心に盛大に開催された。当日は日本列島を大寒波が襲い、外気は極寒の様相を呈していたが「新春の集い」会場は300人超の参加者で溢れかえり、中西市議への応援エールの熱気に包まれていた。

集いには野田義和東大阪市長を始めとした来賓客が続々と詰め掛け、中西市議に来たる9月市議会議員選挙に向けて激励のメッセージを送っていた。（小川秀人）

枚岡〜瓢箪山商店街めぐり
楽しいお店紹介－㉕
タンドリ屋

カレーとナンの本格インド料理を提供

左からチュワイン・ラビーさん、カンデル・カシラムさん、オムパール・カシュさん

社長のカンデル・カシラムさんはネパール生まれの53歳、1997年に日本にいる知人を頼って来日した。以来、広島福山で1年、名古屋で1年、和歌山新宮で9年の合計11年間にわたりカレー屋の修業に励んだ。

修業の後、カレー屋を開業するにあたり、大阪周辺を中心に3カ月ほど店舗の物件探しをした。

瓢箪山に開店した理由は人の流れ・立地・賃借料等を考慮した結果だ。以来本年で11年目を迎える。

店名の由来を聞くと、ナンやチキンを焼く土の窯（かま）をタンドールといい、インド本国でも焼き上げる料理人を「タンドリヤ」と称するそうだ。そこで分かりやすく店名を日本風に「タンドリ屋」に決めたとのこと。

カンデルさんはネパール人だが、インドとネパールは民族・宗教的にも近く、カレー・ナンに代表される料理も類似している。店のスタッフはチュワイン・ラビーさん、オムパール・カシュさんの2人だ。

客層は地元の人が多いが、土曜・日曜はファミリーをメーンに様々なお客さんが来店するという。

メニューはカレー29種類・ナン12種類を中心に、タンドリーチキン・シシカバブ等々美味しい品揃えに目移りしてしまう。

ランチタイムはナン・カレー・サラダ・ドリンクセットが850円、タンドリーチキン付きセットは1、090円とリーズナブルな価格だ。4人以上のグループには10%引きの嬉しいサービスもある。

ディナーセットはナンのお代わりOKで、ナンカレーサラダセット1、260円、スペシャルセット1、600円等々多彩なメニューだ。

店はサンロード商店街から多少外れるが、枚岡樟風高等学校のすぐ隣に位置している。日本人はカレーが大好きで、大阪市内にはカレー屋激戦区があちこちにあるが、瓢箪山の町なかに本格インドカレー屋出店とは目の付け所がよい。今後の繁栄を祈りたい。（小川秀人）

エスニック レストラン タンドリ屋
東大阪市鷹殿町11−5
TEL 072−987−2380
営業時間：ランチ　11〜15時
ディナー　17〜22時半
休日：なし

八尾市 平成31年度予算案

（）内は前年度比増減＝%、▼は減。歳入と歳出は一般会計のおもな項目

八尾市
総額（全会計）
2,077億2,831万円（▼1.8）
一般会計
992億3,141万円（▼4.2）
〈歳入〉
市税377億8,254万円（0.7）
市債67億2,490万円（▼37.7）
〈歳出〉
4月開園の公立認定こども園5園などの運営事業6億7,261万円／妊婦健診の助成回数拡充などの妊産婦包括支援事業2億4,899万円／自主防災組織育成事業758万円

「すべての子どもたちの就学前教育の充実を図る。市民の安心安全のために防災対策も改善していく」（田中誠太市長）

お詫びと訂正

2月1日号1面掲載の「アジト」で、代表が鴻上直規さんとなっていました。正しくは鴻上真規さんです。お詫びして訂正いたします。

晴耕雨読

国会中継が面白い。予算委員会では毎月勤労統計の不正調査で集中砲火を浴びている厚生労働省の大臣や官僚たちの右往左往ぶりに、ここまで劣化したのかと驚いた。

賃金引き上げを経団連に要請してきた安倍首相。消費税増税の最終判断にアベノミクスの成果を強調し宣伝する必要がある。気持ちをおしはかる（忖度）のは自然だ。忖度にも不正を働くまでのブラック忖度とうまく物事を進行させるホワイト忖度があると思う。政府統計の不正手続き（統計法違反）が噴出したことを機に、デジタル社会に対応した統計制度を構築すべきだ。相変わらず「官邸指示か」「忖度したのか」「資料を出せ」「参考人を呼べ」「記憶にない」などが飛び交う。結論はやぶの中だが、視聴者という名の探偵がいる。

毎回、答弁する大臣に事務方がべったり。何とも情けないシーンだ。他方、高い志を持って入省した官僚は偏差値も高い。しかし、時間と共に参考人（局長や課長級）のように組織力学や政治家にもまれて狡猾にして強（したた）かな官僚に変身していく。

もっと国会中継を

賢い人は頭が回るから言い訳が上手い。頭のいい者はごまかすことに優越感を感じるから始末が悪い。論理矛盾に陥らないようにウソの履歴を記憶力でコーティングし、外敵をくらまし身を守る色に即応するカメレオン型人間が答弁巧者である。カメレオンを捕獲する知恵者やデジタル技術が必要だ。

NHKに不満を感じるのは、国内外の政治マターに対する議論が少ないことや国会中継時間が短いことだ。規制のためだろうか。国会中継のファンは多い。何より国会議員と官僚たちに緊張感を与える場だ。切り取られた情報に頼ることはなく、しっかりと中継を視聴し人物評価をしたい。

2019・3・1

えぇっ!?
環境活動して会社の業績UP??
ほんまかいな〜
……もぅちょい詳しく TEL：072-991-8878
O-KES
KES・環境マネジメントシステム・スタンダード
特定非営利活動法人 グラウンドワーク八尾 大阪KES環境機構（O-KES）
詳しくはこちら→ http://www.gw-yao.com

自分史・社史出版のお手伝い
記憶は一代、記録は末代
地元八尾の出版社
だからこそできる
きめ細かな本作り
著者と編集者が二人三脚で本作り
株式会社ドニエプル出版
TEL.072-926-5134
八尾市山本町南6-2-29
FAX.072-921-6893

ウエス販売
≪商品紹介≫
〜色メリヤスウエス〜（1kg￥350）
〜混合ウエス〜（1Kg￥200）
〜タオルウエス〜（1kg￥400）
〜白メリヤスウエス〜（1Kg￥500）
☆不用になった中古衣料やタオルから、ウエスに適した原料だけを選別加工し商品として仕上げました。障がいを持つ利用者が手作業で丁寧に裁断し、梱包をしています。地球に優しく、皆様に愛される商品を目指しています。
社会福祉法人ヤンググリーン
障害ワークセンターwill
〒577−0023 東大阪市荒本1−4−32
TEL：06−6789−6171
FAX：06−6789−6172

小ロット 機械部品加工
東大阪営業所
〒577-0007
大阪府東大阪市稲田本町3−7−17
株式会社 東華機械
代表取締役 東 修平
FAX06−6746−6844
E-mail azuma.s@donghua-sh.com
（日本・中国共通）

株式会社 藤原電子工業
http://www.fdk-ltd.jp/
プリント基板製造の外形加工
プレス・ルーター加工及び金型製作設計
〒581-0042
八尾市南木の本二−五一
TEL（〇七二）九九一−三九二七
FAX（〇七二）九九一−三九九六
fujiwara-denshi@nyc.odn.ne.jp

「エコレ」食用油ろ過システム
・食用油の品質管理・理想的なろ過を実現
・廃油を発生させない・調理場の環境改善・経費削減
ご相談は「蔵屋」植田眞一までご用命ください
☎090−4492−4187

大雨　洪水　津波　台風

こんな時の
必需品
災害時対応の
「人引車（じんびきしゃ）」
立命館大学 DMUCH
歴史都市防災研究所
との共同開発！
一般社団法人災害避難研究所
マツモラ産業株式会社
共同開発
監修（一社）災害避難研究所
企画開発 大興産業株式会社
製造 マツモラ産業株式会社
TEL 072-925-3450
大阪の元気！ものづくり企業
津波緊急時高台避難鎖階段
逃げるんだ・登るんだ

簡単に設置できる、避難はしごの決定版

八尾・柏原版

八尾柏原支社
八尾市山本町南６−２−29
TEL 072−926−5134
FAX 072−921−6893

アーティストとしての才能開花

「お勤め帰りの絵画教室」に出展

野田ブラシ工業株式会社 社長 野田明宏さん

自作の絵画の前で、野田明宏さん

セブンカルチャークラブ八尾（☎072−992−8100）の「お勤め帰りの絵画教室」（井上裕義講師）の生徒が、2月13日〜18日に八尾市観光協会（八尾市北本町2）で作品展を開いた。

50歳の誕生日に家族から絵画セットをプレゼントされて始めた野田明宏さん（59）＝野田ブラシ工業株式会社社長＝は「駱駝・親」「駝鳥・子」「民族衣装の女」を出展した。人前に披露するのはこれが初めて。アーティストとしての才能を開花させた野田さんは、会社経営の傍ら今後も作品作りに取り組むという。

どの作品もリアルで玄人はだし。訪れた弁護士の高木陽一さん（58）＝阿吽法律事務所代表＝は「野田さんにこんな才能があったとは驚きです」と話していた。

奥難波に理想のカフェが誕生

広域

本物を追求

カフェつぎね 6代目社長 井上文孝さん

ダンディーな井上文孝社長

そこにいるだけで心が満たされる場所がある。カフェつぎねはそんな空間だ。

なぜこんなにも寛げるのだろうか。そう考えて周りを見渡すと、本物の調度品に囲まれているからだと気づく。腰掛けているソファーは北欧のビンテージ、吊るされているランプは英国のアンティークだ。

バーカウンターに目をやると、フランスのアンティーク扉がはめ込まれている。店内を暖めるのは薪ストーブ。ジャズの音色を醸し出すのは真空管アンプだ。音がまろやかで耳に優しい。本物の追求は半端でない。

炙（あぶ）りみたらし（3本）と極上玄米茶を注文する。ほどなくしてテーブルに置かれた小さな壺を見て、心が踊る。たっぷりと入ったタレの中にみたらし団子が浸かっている。

「このタレはすべてお客様のものでございます」。おもてなし精神にあふれた店員の言葉が嬉しい。

みたらし団子を口に入れると、これこそが求めていたみたらし団子だという喜びが込み上げてきた。極上玄米茶に口をつける。なんとも豊潤な味わいだ。再び、みたらし団子を頬張る。お茶で一休みした口内は、さらに甘さを欲する。そこにみたらし団子が入ったので嬉々とする。まさに「口福」のひとときだ。

カフェつぎねは160年の歴史を持つ和菓子屋、浪芳庵本店に併設されている。昨年8月にリニューアルした際、作られた。「つぎね」は万葉集の中に出てくる植物。「継ぎ音」という意味が込められており、時代を超えて代々伝わる存在になればという思いを6代目社長の井上文孝さん（50）が込めた。

〝奥難波〟に理想のカフェが誕生したことをカフェ好きの記者は個人的にも嬉しい。足繁く通うことになるだろう。

浪芳庵本店・カフェつぎね
大阪市浪速区敷津東 1-7-31
TEL06-6641-5886
営業時間 10:00～18:30

実証販売で顧客満足度急上昇！

「エコレ」ろ過システム 食用油再生の秘密

「蔵屋」スーパーバイザー 植田眞一さん

お客さんに寄り添う植田眞一さん

「費用対効果」という用語がある。生産機械などを売り込む場合、従前の生産方法と比べて格段に生産効率が上がり、導入時のイニシャルコストや消耗品等のランニングコストを含めたトータルコストが有利になり、費用対効果は抜群ですよと客先に売り込む。

英語ではCost Performance、略して「コスパ」などと表現してCMやキャッチフレーズに使用している例もある。融通無碍のなせる業だろう。

この費用対効果を私たちの身近で具現化している商品がある。天麩羅屋、惣菜販売店、居酒屋等の様々な店舗では揚げ物・フライ用の食用油を多く使用。繁盛している店であれば更に食用油の劣化も早い。劣化が進んで油の色がキツネ色から段々とダーク系になり、焦げ茶色になったあたりで廃油として廃棄処理する店舗も多い。

劣化が進んだ食用油で揚げた天麩羅や惣菜が美味しいはずがない。お客さんの評判を落とすだけでなく、調理場に漂う臭気や環境への影響が大きい。

認定証
明日の有名人
に認定します
株式会社 東大阪新聞社

食用油を再生し廃油を発生させない、油の品質管理・食用油ろ過システム「エコレ」が人気上昇中だ。商品カタログにて「エコレ納入事例」として紹介されている。大阪市・石窯パンの店、加古川市・カレー鍋店、京丹後市・スーパーマーケット、西宮市・弁当店、松阪市・居酒屋店等々多くの納入実績があり、いずれも調理場の環境改善、経費削減、廃油が発生しないことのメリットを挙げている。

「エコレ」ろ過システムは簡易型から上級機種まで取り揃えており、客先の他社の油ろ過機をバージョンアップさせる対応も可能だ。客先の調理場・揚げ場の仕様はそれぞれ異なるので、要望に合わせてオーダーメイドのろ過システムを製作する。

エコレ導入により調理場の環境改善・経費削減が進み、来店客の評判も上々となり、美味しい関係が高まること請け合いだ。

エコレ導入に関する相談は「蔵屋」のスーパーバイザー・植田眞一さん（☎090−4492−4187）。懇切丁寧に対応する体勢を整えている。

（小川秀人）

設立祝賀会

広域

歯科専門の接遇接客指導

株式会社アンドスマイル

両親に感謝を述べた後、記念撮影する
蒲ケ原裕子社長（右）

株式会社アンドスマイル設立祝賀会が2月17日に新大阪ワシントンホテルプラザ（大阪市淀川区西中島5）で開かれ、関係者ら約60人が集い祝った。

同社の経営理念は「人財育成を通して関わる全ての人びとを笑顔に導き幸せにする」。歯科専門の組織活性化・人財育成・接遇接客指導を行う。

蒲ケ原裕子社長（49）は2014年に個人事業主として独立。2018年12月10日に法人化した。

「かまちゃん、みんなで法人会を祝いましょう」。友人の出崎三惠さんの一言でこの会の開催が決まった。

当日は鹿児島から両親や知人も駆けつけ、アットホームな会になった。

株式会社アンドスマイル
代表取締役　蒲ケ原裕子
大阪市中央区安土町 3-1-14-1507
TEL・FAX 06-7164-0267
携帯 090-2096-5234

ミドルノート軽音楽会

生きづらさに苦しむ子どもたちのための チャリティー・コンサート

3月21日 夢広場多目的ホールで

「生きづらさに苦しむ子どもたちのためのチャリティー・コンサート」が3月21日に近鉄布施駅前の夢広場多目的ホール（イオンモール5階）で開かれる。主催はミドルノート軽音楽会（熊渕慈恵代表）。

障がいを持つ子ども、施設で暮らす子ども、外国籍の子ども始めすべての子どもたちの心の火を灯したいという思いで熊渕慈恵さん（50）＝写真＝が企画し、準備を進めている。

ボーカリストでもある熊渕さんは、音楽で人の心を癒す活動を続けてきた。また、障がいを持つ長男（11）を育てるなかで、障がいを持っていてもいなくても、子どもの中には無限の可能性が秘められていることを知る。その可能性を開花させるのは親であり、大人の役目だと気付いた。

このことを1人でも多くの人と共有したいという気持ちが次第に強くなり、チャリティー・コンサートへと発展した。

詳しくは3月14日放映の東大阪新聞チャンネルで。問い合わせはミドルノート軽音楽会（☎080−3867−8090）へ。

経営者モーニングセミナー開催 早起きして、会社も家庭も元気に！

●八尾市倫理法人会 経営者モーニングセミナー　3月の予定
毎週火曜日、朝6:30～7:30開催。参加費無料。
会場はマナビックスYAO（近鉄八尾線八尾駅・中央南出口より徒歩約5分）
八尾市倫理法人会事務局 ☎06−6764−1956

5日　大阪府倫理法人会大阪東部地区副地区長　高木幸賢氏「倫理＝素直に受け入れる」
12日　八尾市倫理法人会事務長　松本博氏「10の実践」
19日　八尾市倫理法人会専任幹事　池上哲史氏「倫理の実践で夫婦愛和」
26日　八尾市倫理法人会会長　岡巌氏「希望は心の太陽である」

●大阪鴻池倫理法人会 経営者モーニングセミナー　3月の予定
毎週木曜日、朝6:30～7:30開催。参加費無料。
会場はホテルセイリュウ（近鉄石切駅・南へ徒歩５分）
大阪鴻池倫理法人会事務局 ☎090−9874−3179

7日　明石倫理法人会専任幹事　前田倖里氏「『これでよい』と思う心が私にくれたもの」
14日　倫理法人会法人レクチャラー　前田陽一郎氏「実践躬行」
21日　倫理研究所法人アドバイザー　原田善征氏「経営は真剣勝負」
28日　大阪府倫理法人会会長　吉瀬融氏「倫理と組織」

●東大阪市倫理法人会 経営者モーニングセミナー　3月の予定
毎週金曜日、朝6:30～7:30開催。参加費無料。
会場はU･コミュニティホテルＴＴＳセンター6階（近鉄河内小阪駅北すぐ）
東大阪市倫理法人会事務局 ☎06−6748−8838

1日　八尾市倫理法人会会員　西堂路栄治氏「私らしい倫理の関わり方」
8日　東大阪市倫理法人会事務長　北澤千尋氏「私の選んだ道は夫婦道」
15日　倫理研究所法人アドバイザー　山路卓司氏「いかに乗りきるか」
22日　大阪市倫理法人会会長　熊代琢氏「すべてはひとつながり」
29日　大阪府倫理法人会副会長　権藤度夫氏「生きることの目的！?」

高齢者施設　病院

株式会社グリーン・エナジー

臭いの問題 根本的に解決

Green Energy
空気環境整備・消臭はグリーン・エナジー

換気してもダメ、掃除してもダメ、消臭剤を使ってもダメ、張り替えリフォームしてもダメ。いろいろ試しても臭いが取れないときは株式会社グリーン・エナジーに頼むしかない。室内の臭いの発生原因と種類、付着している度合いを調査した上で解決する方法を組み立て、清掃・洗浄・殺菌・消臭作業を行う。シックハウス問題を根本から解決してくれる。

山根寿豊社長（44）＝写真＝がこの仕事に取り組むきっかけは臭覚過敏・化学物質アレルギーの妻、桂子さん（46）だ。化学物質まみれの部屋に入ることができない。カフェや公共施設なども、入口に立っただけで分かるという。無理して入ったカフェで倒れた妻を目の当たりにし、なんとか妻を救わなければという思いに至った山根社長。さまざまな出会いや研究を重ね、現在の仕事を確立した。

高齢化社会において、臭いの問題で困っている高齢者施設や病院が増えている。「今こそ私の出番です」と山根社長は胸を叩いた。

グリーン・エナジー
代表取締役・空気環境整備士 山根寿豊
堺市南区庭代台 1-18-14
TEL 072-206-0555
FAX 072-206-0554

柏原市 平成31年度予算案―

（）内は前年度比増減（％）、▼は減。歳入と歳出は一般会計の主な項目。

総額（全会計）550億9、478万円（1・6）
一般会計　265億9、793万円（4・2）
《歳入》市税　86億3、270万円（0・5）
市債　35億2、480万円（50・1）
《歳出》☆市庁舎施設整備事業（継続）
14億1、810万円
☆認定こども園施設整備事業（継続）
6億6、590万円
☆放課後児童会運営事業（拡充）
1億155万円

「行財政健全化の取り組み効果の低い事業は見直し、市民サービスを確保する考え方を徹底。平成31年度は市庁舎および認定こども園の建設に係る事業費を中心とした予算編成とした」（冨宅正浩柏原市長）

連載小説

ウクライナを歩く―― (120)

小野元裕

カルパチアワインで乾杯

バルト海
リトアニア
ベラルーシ
ロシア連邦
ポーランド
ウクライナ
スロバキア
ハンガリー
モルドバ
ルーマニア
黒海
ブルガリア

「もう一杯いいかしら」

スベトラーナはカルパチアワインをお代わりし、2度目の乾杯をした。

こうして2人でゆっくり食事をするのはいつ以来だろうか。そんなことはどうでもいい。今、こうしてスベトラーナと食事をしている。これだけで充分だ。

昼前にスベトラーナから電話があった。夕方の取材がなくなったという。

「今夜、空いていない？　急に時間ができたの」

「もちろん、空いているよ」

「ああ、良かった」

安堵したスベトラーナの声がスマートフォンから聞こえた瞬間、彼女の香りがふっと鼻先に流れたような気がした。

「中央郵便局前で待ち合わせしよう。何時がいい？」

「18時ちょうどはどうかしら」

「いいよ」

予め作られた芝居の台本のようにすんなり決まった。頭で考えず、口が勝手に動いた。本当に今夕は予定がなかっただろうか。冷静になり、手帳を開いた。今週は毎日夕刻から予定が入っていたが、今日だけはぽっかり空いている。神様からのプレゼントだ。

ウクライナでは当日キャンセルは日常茶飯事。日本では、ドタキャンつまり「土壇場でキャンセル」は嫌われる。よほどのことがない限り許されない。ところが、ウクライナでは何でもない。ウクライに住み始めの頃は、この「常識」に面食らったものだ。前の日に会う約束をしていた友人から、その日になって「今日は君と会う気分ではないので、やめておこう」と電話があり、言葉を失ったことがある。どう返事していいのか分からず、ただ「分かった」としか言えなかった。

そんな習慣も今日はありがたい。取材相手がドタキャンしてくれたお陰でスベトラーナとこうして食事をしているというわけだ。

私ももう一杯カルパチアワインのお代わりをした。

八尾市民寄席米朝一門会
プリズムホール開館30周年を記念した豪華メンバーによる八尾市民寄席
出　演（出演予定順）
桂 米輝　桂 しん吉　桂 南光　～中入～
桂 米團治　桂 ざこば
※ 演目は当日のお楽しみです
日　程　平成31年3月17日（日）
11：00開演/15：00開演（公演時間約2.5時間）
会　場　八尾プリズム小ホール（八尾市文化会館）
チケット
全席指定・税込
●一般 4,000円（当日300円増）
●プリズムクラブ（友の会）3,600円
●障がいのある方とその介添の方（1名様まで）3,200円（当日300円増）
●フレッシュシート18（18歳以下）2,000円
チケット発売日 12/9（日）午前10：00～友の会先行発売　1/13（日）午前10：00～一般前売発売
PRISM HALL
八尾市文化会館
チケットのお求め お問い合わせ
プリズムホール チケットカウンター ☎072-924-9999
プリズムホールウェブサイトチケット　http://prismhall.jp/

「200年住宅リフォーム理念」
どこまでも続く
永いおつきあいを

サンコーではお客様目線に立ち、品質・施工・ご予算に無駄のないプランをご提案します。
キッチン・トイレ・バス・洗面のリフォームはもちろん、畳の表替えや、外装・耐震補強など、お家のあらゆるご相談に応じます。
サンコー物産株式会社
お問い合わせはお気軽に TEL.06-6533-1271
本　社　〒550-0015 大阪市西区南堀江4丁目33番29号
E-mail：info@sankobussan.co.jp
http://www.sankobussan.co.jp/
東京営業所
名古屋営業所
大阪営業所
和歌山営業所
福岡営業所

元気になれ！
ヘム鉄ゼリー
1粒にほうれん草30株分、プルーン300粒分の鉄分補給！
黒粒ヘム鉄ゼリーは、ヘム鉄と、瞳に優しいアントシアニン色素、ビフィズス菌の栄養になる（善玉菌を増殖させる）オリゴ糖、そして、スギナ・ヨモギなどをバランスよく含有したゼリーです。
430ｇ（50粒）
￥4,104（税込）
（有）ライヴグリーン
TEL 072-923-5517

第７回世界に羽ばたけ
『夢』スピーチコンテスト
支援金額：120万円
【本選開催日時】平成31年10月
14時～17時30分
本選開催場所：大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天
住所：大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10
主催：一般財団法人青少年夢応援隊
協賛：株式会社サンクレスト
後援：大阪府、東大阪市
公式サイト：http://yumeouentai.com
【開催趣旨】
将来の夢や目標があるが、経済的支援を必要とする若者が自身の「夢」をテーマにスピーチを行い、受賞者を選定、支援金権利を授与いたします。
【応募資格】
大阪在住または在学・在勤の16歳以上25歳までの青少年（1994年4月2日～2004年4月1日生まれの方）
【出場者一次選定】
作文を基にスピーチコンテスト本選出場者10名を選考いたします。
①公式サイトより『出場申込書』をダウンロードし、必要事項を記入
②「夢」というテーマで作文を書いていただきます。
また、受賞した際の支援金の使途も記載ください。
※原稿用紙（400字詰め）にて３枚まで
※手書き、パソコン等問わない
③応募方法：「出場申込書」と「原稿」を併せてメール又は郵便でお送りください。
※「出場申込書」と「原稿」はＨＰよりダウンロードしてください。
※メールを送る際の件名は「スピーチコンテスト応募」としてください。
④送り先：郵送の場合　宛先：大阪府東大阪市南上小阪 12-42
一般財団法人青少年夢応援隊　スピーチコンテスト企画係宛
メールの場合　info@yumeouentai.com
問い合わせ☎06-6725-0511
⑤原稿締切：平成31年9月
東大阪の企業　株式会社サンクレストが応援しています